

# 芸 術

## (音楽Ⅰ)

発 行 者			教科書の記号	判型	総ページ数	検定済年
番号	名	略称	番 号			
17	教育出版	教出	音Ⅰ 701	A4	164	令和3年
27	教育芸術社	教芸	音Ⅰ 702	A4変型	166	
27	教育芸術社	教芸	音Ⅰ 703	A4	158	
89	音楽之友社	友社	音Ⅰ 704	A4変型	166	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

音楽 I		冊数	4冊
発行者の略称・教科書の番号	教出701 教芸702 教芸703 友社704		

## 2 学習指導要領における教科・科目の目標等

### 【芸術の目標】

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

### 【音楽 I の目標】

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

### 【音楽 I の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>A 表現</p> <p>(1) 歌唱</p> <p>ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫すること。</p> <p>イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。</p> <p>(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり</p> <p>(イ) 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり</p> <p>(ウ) 様々な表現形態による歌唱表現の特徴</p> <p>ウ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能</p> <p>(イ) 他者との調和を意識して歌う技能</p> <p>(ウ) 表現形態の特徴を生かして歌う技能</p> <p>(2) 器楽</p> <p>ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫すること。</p> <p>イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。</p> <p>(ア) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり</p>	<p>(1) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については、中学校音楽科との関連を十分に考慮し、それぞれ特定の活動のみに偏らないようにするとともに、必要に応じて、〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図るものとする。</p> <p>(2) 内容の「A表現」の(1)、(2)及び(3)の指導については、ア、イ及びウの各事項を、「B鑑賞」の(1)の指導については、ア及びイの各事項を適切に関連させて指導する。</p> <p>(3) 生徒の特性等を考慮し、内容の「A表現」の(3)のウについては(ア)、(イ)又は(ウ)のうち一つ以上を選択して扱うことができる。</p> <p>(4) 内容の〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力であり、「A表現」及び「B鑑賞」の指導と併せて、十分な指導が行われるよう工夫する。</p> <p>(5) 内容の「A表現」の指導に当たっては、生徒の特性等を考慮し、視唱と視奏及び読譜と記譜の指導を含めるものとする。</p> <p>(6) 内容の「A表現」の指導に当たっては、我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を含めて扱うようにする。その際、内容の「B鑑賞」の(1)のア及びイの(イ)又は(ウ)との関連を図るよう配慮するものとする。</p>

<p>(イ) 曲想と楽器の音色や奏法との関わり  (ウ) 様々な表現形態による器楽表現の特徴  ウ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。  (ア) 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能  (イ) 他者との調和を意識して演奏する技能  (ウ) 表現形態の特徴を生かして演奏する技能</p> <p>(3) 創作  ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫すること。  イ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。  ウ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。  (ア) 反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能  (イ) 旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能  (ウ) 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能</p> <p>B 鑑賞  (1) 鑑賞  ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。  (ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠  (イ) 自分や社会にとっての音楽の意味や価値  (ウ) 音楽表現の共通性や固有性  イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。  (ア) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり  (イ) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり  (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴</p> <p>[共通事項]  ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。  イ 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。</p>	<p>(7) 内容の「A表現」の(3)の指導に当たっては、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成することを重視するとともに、作品を記録する方法を工夫させるものとする。</p> <p>(8) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、思考力、判断力、表現力等の育成を図るため、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫する。なお、内容の「B鑑賞」の指導に当たっては、曲や演奏について根拠をもって批評する活動などを取り入れるようにする。</p> <p>(9) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の教材については、学校や地域の実態等を考慮し、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽から幅広く扱うようにする。また、「B鑑賞」の教材については、アジア地域の諸民族の音楽を含めて扱うようにする。</p> <p>(10) 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感できるよう指導を工夫する。なお、適宜、自然音や環境音などについても取り扱い、音環境への関心を高めることができるよう指導を工夫する。</p> <p>(11) 自己や他者の著作物及びそれらの作者の創造性を尊重する態度の形成を図るとともに、必要に応じて、音楽に関する知的財産権について触れるようにする。また、こうした態度の形成が、音楽文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう配慮する。</p>
---	--

### 3 教科書の調査研究

#### (1) 内容

##### ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）	数値データの単位
a 「表現」で「歌唱」・「器楽」・「創作」を扱うページ数と割合	内容「A 表現」	ページ、%
b 「表現」で「我が国の伝統的な歌唱及び和楽器」を扱う曲数	内容の取扱い（6）	曲
c 「鑑賞」で「我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴」を扱う曲数	内容「B 表現」	曲
d 「鑑賞」で「アジア地域の諸民族の音楽」を扱う曲数	内容の取扱い（9）	曲
e [共通事項]の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所数	内容[共通事項]（1）ア	箇所
f [共通事項]の「知識」について示された箇所数	内容[共通事項]（1）イ	箇所
g 発展的な内容を取り上げている箇所数	第1章総則 第2款	箇所

##### イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

###### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項のc及びgとの関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

c 「鑑賞」に関して「我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴」について取り扱っている事項

g 発展的な内容の概要

<その他>

- \* 防災や自然災害の扱い
- \* オリンピック、パラリンピックの扱い

###### ② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 学習指導要領に、「我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して鑑賞すること」とされているため、「鑑賞」に関して「我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴」について取り扱っている事項について調査する。
- ・ 学習指導要領に、内容の範囲や程度等を示す事項は、当該科目を履修する全ての生徒に対して指導するものとする内容の範囲を示したものであり、学校において必要がある場合には、この事項にかかわらず指導することができるため、発展的な内容を取り上げている箇所について調査する。
- \* 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- \* 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック、パラリンピックの扱いについて調査する。

#### (2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫
- ② ユニバーサルデザインの視点
- ③ デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」【(1)内容 ア 調査研究の総括表】(音楽I)

調査項目			a		b	c	d	e	f	g	
			う「器楽」 ページ数 と割合 を扱	「表現」 で「歌唱」 を扱	を統一的な 楽曲及び 我が国の 伝	徴土の鑑賞 を伝統音楽 の我が国 種類や特	曲の鑑賞 民族の音 楽を扱う 地域	に力「共通 事項」の 表現力等 を扱	に「共通事 項」の知 識	て発展的 な内容を 取り上げ	
発行者	教科書番号	教科書名	ページ数	%	曲数	曲数	曲数	箇所数	箇所数	箇所数	(全体のページ数)
教出	701	音楽I Tutti Plus	101	61.6	49	14	2	58	174	0	164
教芸	702	高校生の音楽1	87	52.4	56	5	1	21	118	0	166
教芸	703	MOUSA1	99	62.7	65	4	2	57	261	0	158
友社	704	ON! 1	103	62.0	10	61	5	71	205	0	166
平均値			97.5	59.6	45.0	21.0	2.5	51.8	189.5	0.0	164

・aの割合については、全体のページ数に対する該当のページ数の割合を、小数第2位を四捨五入した値である。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 教出701】(音楽Ⅰ)

c 「鑑賞」で「我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴」を扱っている曲名	g 発展的な内容を取り上げている箇所
平調越天楽	なし
陵王	
春庭花	
万歳楽	
胡徳楽	
地久	
仁和楽	
雅楽(舞楽)「蘭陵王」	
長唄「京鹿子娘道成寺」	
尺八曲 琴古流尺八本曲「巢鶴鈴慕」	
箏曲「千鳥の曲」	
能「安宅」	
勧進帳	
国性爺合戦	

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 教芸702】(音楽Ⅰ)

c 「鑑賞」で「我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴」を扱っている曲名	g 発展的な内容を取り上げている箇所
雅楽 陵王 ～舞楽～	なし
能 高砂	
歌舞伎 京鹿子娘道成寺	
仲順流り	
組踊《執心鐘入》	

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 教芸703】(音楽Ⅰ)

c 「鑑賞」で「我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴」を扱っている曲名	g 発展的な内容を取り上げている箇所
雅楽 舞楽《陵王》	なし
能《道成寺》	
箏曲《みだれ(乱輪舌)》	
尺八曲 琴古流古典本曲《鹿の遠音》	

c 「鑑賞」で「我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴」を扱っている曲名	g 発展的な内容を取り上げている箇所	
箏曲「六段の調」	花笠踊り	なし
「勸進帳」から「寄せの合方」	斎太郎節	
「鏡獅子」から「狂いの合方」	佐渡おけさ	
「秋の色種」から「虫の合方」	相馬盆唄	
江戸祭囃子	会津磐梯山	
ねふた囃子	山中節	
祇園囃子	こきりこ	
長唄「京鹿子娘道成寺」	八木節	
長唄「勸進帳」	磯節	
長唄「越後獅子」	三国節	
長唄「小鍛冶」	木曾節	
長唄「元禄花見踊」	大漁節	
長唄「吾妻八景」	大島節	
催馬楽「更衣」	ちゃつきり節	
箏曲「新ざらし」	伊勢音頭	
管絃「越天楽」	串本節	
舞楽「蘭陵王」	河内音頭	
舞楽「納曾利」	貝殻節	
神楽歌「早歌」	下津井節	
久米歌「揚拍子」	男なら	
東遊「求子歌」	こんびら船々	
朗詠「嘉辰」	よさこい節	
箏曲「笹の露」	黒田節	
箏曲「千鳥の曲」	五木の子守歌	
箏曲「桜狩」	かりぼし切り歌	
箏曲「五段砧」	鹿児島小原節	
春の海	奄美の子守歌	
ソーラン節	谷茶前	
江差追分	ていんさぐぬ花	
ホーハイ節		
秋田おばこ		
南部牛追歌		

「別紙2-2」 【防災や自然災害の扱い】（音楽Ⅰ）

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方(本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
教出	701	音楽Ⅰ Tutti Plus	有	音楽史年表	関東大震災 阪神・淡路大震災 東日本大震災	音楽史年表内に、災害名が記述されている。
教芸	702	高校生の音楽1	有	音楽史年表	関東大震災 阪神・淡路大震災 東日本大震災	音楽史年表内に、災害名が記述されている。
教芸	703	MOUSA1	有	音楽史年表	阪神・淡路大震災 東日本大震災	音楽史年表内に、災害名が記述されている。
友社	704	ON!1	有	P12「花は咲く」の楽曲情報	東日本大震災	東日本大震災の被災地復興支援のため制作されたチャリティーソングである旨が記述されている。
				音楽史年表	阪神・淡路大震災 東日本大震災	音楽史年表内に、災害名が記述されている。



「別紙2-3」【オリンピック、パラリンピックの扱い】(音楽Ⅰ)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方(本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
教出	701	音楽Ⅰ Tutti Plus	有	音楽史年表	東京オリンピック(1964)	音楽史年表内の日本史の項目に記載されている。
教芸	702	高校生の音楽1	有	音楽史年表	東京オリンピック(1964)	音楽史年表内の日本の出来事の項目に記述されている。
教芸	703	MOUSA1	有	音楽史年表	東京オリンピック(1964)	音楽史年表内の日本史の項目に記述されている。
友社	704	ON!1	有	音楽史年表	東京オリンピック(1964) 東京オリンピック(2021)	音楽史年表内の日本史・一般事項の項目に記述されている。

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(音楽Ⅰ)

発行者	教科書番号	教科書名	構成上の工夫
教出	701	音楽Ⅰ Tutti Plus	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習事項を振り返るコーナーが充実しており、学びに必要な知識が確認できる。</li> <li>・歌唱や器楽、創作の教材において、グループ活動を取り入れ協働しながら学ぶ教材がある。</li> <li>・楽器の構造や演奏する際の姿勢を示した写真等が大きく掲載されており、より分かりやすいように工夫されている。</li> <li>・ユニバーサルデザインに配慮したデザインや配色がなされている。</li> <li>・目次に掲載されている二次元コードを読み取ることで、学習に関連する音源を聴いたり、ワークシートを閲覧したりすることができる。</li> </ul>
教芸	702	高校生の音楽1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材毎に、活動する際のポイントやコラムが設けられており、主体的・対話的で深い学びの学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>・主体的・対話的な学びを実現させるため、話し合いを促す記述やワークシートが記載されている。</li> <li>・歌詞の内容に関連した写真やイラスト、背景・風景が掲載されており、イメージをもちやすいよう工夫されている。</li> <li>・専門家から色彩デザインに関する助言を得て、色覚特性に配慮した配色がなされており、学習上重要な情報を確実に読み取れるように配慮されている。</li> <li>・各ページに掲載されている二次元コードを読み取ることで、学習に関連するコンテンツを閲覧することができる。</li> </ul>
教芸	703	MOUSA1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習を進めることができるよう、学習内容や活動のポイントが明確に示されている。</li> <li>・主体的に学習を進めることができるよう、アンサンブル活動やグループ活動が取り入れられている。</li> <li>・様々な楽器の特徴や演奏方法、構え方を的確に捉えた写真が掲載されており、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、専門家から色彩デザインに関する助言を得て、色覚特性に配慮した配色がなされている。</li> <li>・各ページに掲載されている二次元コードを読み取ることで、学習に関連するコンテンツを閲覧することができる。</li> </ul>
友社	704	ON! 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本を復習できるページがあり、学びに必要な知識を確認したうえで各題材に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>・各題材には、主体的・対話的に活動するために役立つ知識やヒントが掲載されている。</li> <li>・楽譜の歌詞と、本文やコラム等の文字フォントが区別されている。</li> <li>・表現の題材ページは色味が抑えられており、見やすいデザインとなっている。</li> <li>・学習に関連する写真やコラム、資料等がバランスよく配置されている。</li> </ul>